

輪～ブラジルを通してつながる

学校所在府県：大阪府

学校名：交野市立交野小学校

名前：廣田 桜

実践教科：特別活動

指導時数：4 時間

対象学年：小学 1 年生（1 クラス）

対象人数：27 人

1. 教師海外研修を通して感じたこと

この研修を通して感じたことは大きく 4 つある。

1 つ目は「学び」である。ブラジル社会のこと、日本とのつながり、日系移民、環境、治安など…知らないことだらけだった。実際に現地に訪れたからこそ、見て聞いて知って感じることができ、もっと知りたいと思えた。毎日が魅力的で学ぶことだらけだった 14 日間。新しい知識が増えることの喜び。まだまだ学びたいと思えることに幸せを感じた。

2 つ目は「つながり」である。日系移民とブラジル人とのつながり、交番にいる警察官と地域の人のつながり、学校の先生と生徒のつながり、日本とブラジルのつながり。たくさんのつながりを感じることができた。中でも、この研修に参加することで出会えた 10 人の先生方とのつながりが大きかった。研修中の毎日の振り返りでは、その日の研修で感じたことや考えたことを共有した。同じところを訪問していても、一人一人感じ方や捉え方が違い、そこがまた新鮮で刺激的で、自分の考えをより深めることができた。

3 つ目は「今後」である。この経験をどう活かすか、すべて自分次第である。私が感じたブラジルを、学校で子どもたちともう一度体験できるような授業を実践したい。今後も様々な研修に参加し、自分を磨き高めていきたい。

4 つ目は「感謝」である。このような機会を与えてくださった JICA には本当に感謝している。また、ブラジルで出会ったたくさんの方々。様々な人の協力のおかげで充実した研修になった。たくさんの学びや気づきがうまれた 14 日間。この研修に参加できたことは、自分にとって一生の財産となった。

2. カリキュラム

(1) 実践の目的・背景

小学 1 年生にとって、外国の国というのは全くの未知の世界だろう。移動手段、移動時間、どんな街並みで、どんな暮らしをしているのか。自分たちが知っている今の日本が、他の国からみると当たり前ではないということ。それぞれ国によって様々な違いがあるということ。文化の違い、習慣の違いなどを知り、違いがあるからこそおもしろいということを感じてほしい。

クラスには様々な個性の児童がいる。できるだけたくさんの友だちと関わってほしい。そこで、このブラジルの授業では、その時々で考えたことや感じたことを毎回友だちと交流する。そして、人によって感じ方や捉え方がたくさんあることを知り、その違いをおもしろいと感じてほしい。そこから、今まで知らなかった新たな一面を発見したり、お互いを尊重し認め合えるようになってほしい。このブラジルの授業を通して、一人ひとりが輝き、クラスメイトとつながっていきけるきっかけづくりになればと考えている。

(2) 授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1 時限目 ブラジルを知る *ブラジルに関する基礎知識を学ぶ。ブラジルに興味・感心をもつ。	<ul style="list-style-type: none">● ブラジルの位置を確認する。● 写真を見ながらブラジルがどんな国なのかを知る。(国旗、アマゾン川、サッカー、サンバ、街並み)● 感想を交流する。	<ul style="list-style-type: none">● 写真(パワーポイント)● 地球儀● ホワイトボード● マーカー● 動画(交差点でリフティングをしている少年)

<p>2 時限目</p> <p>ポルトガル語で コミュニケーション</p> <p>*クラスのみならずポルトガル語で交流をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ポルトガル語の挨拶を学ぶ。 ●ポルトガル語での自己紹介の仕方を学ぶ。 ●ブラジルのジャンケン「ゼーリーニョーウン」を知る。 ●サンバの曲に合わせて、クラスのみならずポルトガル語で交流をする。 ●感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●パワーポイント ●ワークシート ●CD（ブラジルで購入した曲） ●ホワイトボード ●マーカー
<p>3 時限目</p> <p>ブラジル仕事クイズ</p> <p>*日本と同じ仕事でも、国によって様々なやり方や服装の違いがあることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●写真を見ながら、何の仕事をしているか考える。 ●答えをホワイトボードに書き、班のみならず交流する。 ●日本と違うところ、同じところを考える。 ●感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真（パワーポイント） ●ホワイトボード ●マーカー
<p>4 時限目</p> <p>日本とブラジルの学校</p> <p>*遠く離れていても、つながっている部分があることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ブラジルの学校の写真を見て、日本の学校と違うところや同じところを考える。 ●ブラジルの子どもたちが、日本語で歌を歌っている動画を見る。 ●感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真（パワーポイント） ●ホワイトボード ●マーカー

3. 授業の詳細

1 時限目：ブラジルを知る

ねらい…ブラジルに関する基礎知識を学ぶ
ブラジルに興味・感心をもつ

◆内容◆

- ① 地球儀でブラジルの位置を確認する。
- ② ブラジルの国旗を示し、その意味を知る。
- ③ パワーポイントのスライドを使ってブラジルの写真を見る。
- ④ 感想を書いてクラスのみならず交流する。

！ココがポイント

- ・自然、街並み、サッカー、サンバにポイントをしばって見せた。
- ・現地で撮影した動画を見せ、ブラジルに対する興味・関心が高まるように工夫した。



日本の鳥居を利用した信号

児童の感想

- ▶ ブラジルっておもしろいな。サンバみてみたいな。
- ▶ はだしてサッカーしていたくないのかな。
- ▶ ひこうきで24じかんもかかるのにびっくりした。
- ▶ いっぱいおぼえて、いっぱいかぞくにおしえて、かぞくのみならずブラジルにいきたいです。

◆所感◆

外国という国の存在。その中のブラジルという国。1年生の児童にとっては、外国の存在自体を知ることが第一歩となる。今年はワールドカップの開催のおかげで、ブラジルのことを知っている児童が多かった。ブラジルの写真を見ることで、日本と似ているところ、違うところをたくさん発見することができた。裸足でサッカーをする少年、ブラジルのトイレ、街並み…日本の当たり前が、ブラジルでは当たり前ではないということ。子どもたちは、どの写真も真剣に見入っていた。

2 時限目：ポルトガル語でコミュニケーション

ねらい…クラスみんなとポルトガル語で交流をする。

◆内容◆

- ①「おはよう」「ありがとう」「さようなら」などのポルトガル語を学ぶ。
- ②ポルトガル語での自己紹介の仕方を学ぶ。
- ③クラスみんなとポルトガル語であいさつをして交流する。
 - ・サンバの曲が流れると踊りながら教室中を歩く。
 - ・曲がとまると2人組をつくり、あいさつをかわす。
 - ・ワークシートにサインを書き合う。
- ④ブラジルのジャンケン「ゼーリーニョーウン」を知る。
- ⑤クラスみんなと「ゼーリーニョーウン」で交流する。
 - ・あいさつの時と同じ流れで行う。
- ⑥感想を書いてクラスみんなと交流する。

サンバの曲にみんなノリノリ♪



ダンシングタイム



サイン交換タイム

！ココがポイント

ブラジルで購入したサンバの曲をかけることで、教室中が明るい雰囲気になり、子どもたちも大喜びだった。

児童の感想

- ▶ サンバがたのしかった。みんなにもサインしてもらえてうれしかったです。またやりたいです。
- ▶ サンバ、みんなげんきよくやっていたのしかった。

◆所感◆

ポルトガル語については、今回の授業をおこなう一か月前から児童には伝えていた。そのため、自己紹介やブラジルのジャンケン「ゼーリーニョーウン」の習得も早かった。覚えたばかりのポルトガル語を、とてもうれしそうに話す姿が見られてよかった。また、サインを書き合うことがうれしかったようで、多くの友だちと積極的に交流しようとする児童がたくさんいた。

3 時限目：ブラジル仕事クイズ

ねらい…日本と同じ仕事でも、国によって様々な仕事のやり方や服装の違いがあることを知る。

◆内容◆

- ① 工作中的の写真を見ながら、何の仕事をしているかを考える。
- ② 答えをホワイトボードに書き、班のみんなと交流する。
- ③ 日本と違うところ、同じところを考える。
- ④ 感想を書いてクラスのみんなと交流する。

【問題】

- 第 1 問 市場の魚屋さん
- 第 2 問 スーパーのレジ打ちの店員
- 第 3 問 大型スーパーの掃除のお兄さん
- 第 4 問 警察官
- 第 5 問 寿司屋の店員

！ココがポイント

クイズ形式にすることでどの児童も楽しんで参加することができた。

<ブラジルクイズで使ったもの>



児童の反応

- ▶ 漢字が書いてあるはちまきを見て、空手家や肉まん屋さん、うどん屋さんなどありとあらゆる想像をしていた。子どもならではの発想がたくさんあり、大変盛り上がった。

児童の感想

- ▶ ブラジルにおすしやさんがあってびっくりした。
- ▶ けいさつのなかにはほんのかんじがあった。にほんからブラジルに、いろいろつたえてるんやな—とおもいました。
- ▶ きのうちよりもっとブラジルがだいすきになった。

◆所感◆

寿司屋の問題を出すことで、日系移民のことに少しふれることができた。遠く離れたブラジルに、日本文化が存在することを知り、ブラジルの事をより身近に感じてくれたようだ。

4 時限目：日本とブラジルの学校

ねらい…遠く離れていても、つながっている部分があることを知る。

◆内容◆

- ① ブラジルの学校の日を知る。
- ② ブラジルの学校の写真を見て、日本の学校との違うところや同じところを班のみんなと一緒に考える。
 - ・給食風景
 - ・体育館
 - ・教室の前と後ろ
 - ・廊下
- ③ 見つけたことをホワイトボードに記入する。
- ④ 考えた意見をクラスの人々と交流する。
- ⑤ ブラジルの子もたちと、日本の遊びで交流している写真を見る。
- ⑥ ブラジルの子もたちが、日本語で歌を歌っている動画を見る。
- ⑦ 感想を書いてクラスの人々と交流する。



班で考えている様子

<授業で使用した写真>



教室・前

あれ！黒板じゃないのかな？



教室・後ろ

ランドセルじゃないのかな!?



廊下

児童の反応

- ▶ 同じ小学校でも、ブラジルではランドセルがないところや、体育館にサッカーゴールがあるところに驚いていた。



感想交流タイム

授業全体を通じた児童の感想

- ▶ ブラジルのペンキょう、もうおわりってかなしいです。ぜんぶたのしかったです。
- ▶ ブラジルのペンキょう4かいもできてうれしかったです。
- ▶ おとなになったら、ブラジルにいきたいです。
- ▶ もうおペンキょうがおわりかわりに、ブラジルにいきたいです。
- ▶ たのしかったです。いってみたいです。いってもっとしりたいです。ほかにはなにがあるのかしりたいです。
- ▶ にほんから24じかんもかかるところでブラジルのしょうがっこうのこたちが、にほんごのペンキょうをしているなんてびっくりしました。

◆所感◆ 同じ小学生の様子を取り上げた授業だったので興味・関心も高く、日本の学校との様々な相違点や共通点を見つけることができた。遠く離れたブラジルで日本語を話す子どもたちを見て、ブラジルと日本のつながりを感じ、さらにブラジルのことを好きになってくれたようだ。

4. 成果

ひらがなを覚えたばかりの児童は、学ぶことへの意欲が高く、ポルトガル語に対する興味・関心も高かった。すぐに様々な言葉を覚え、教室中が日々ポルトガル語であふれた。

今回は、ブラジルのことを知るだけでなく、学習を通して一人ひとりがクラスの友だちとつながりをもってほしいと考えていた。そのため、授業では毎回自分の感想を書き、交流する時間を大切にした。交流していく中で、人によって様々な感じ方や捉え方があることを知り、だからこそおもしろいと感じてほしかった。

毎回の授業を楽しみにしていた児童が多く、学校で学んだことを家に帰って話す児童がたくさんいたようだ。また、ポルトガル語を児童自らが家族に教え、家族みんなでポルトガル語を練習したところもあったと聞く。そのため、保護者の方からの反響も多く、その結果たくさんの保護者の方々ともつながることができた。

今回の授業で学んだことをきっかけに、ブラジルだけでなく他の国にも興味・関心を持ち、視野を広げていってほしいと思う。

5. 課題

今回は1年生が対象ということもあり、「楽しく」をモットーに授業を展開していった。簡単でわかりやすく、誰でも親しめるように工夫した。内容もポイントをしばっておこなった。そのせいか、今回学習したことが、ブラジルの全てだと捉えられる可能性もある。今後は、1年生がわかる範囲で環境問題などの他のテーマについてもふれていきたい。また、ブラジルだけでなく他の国の様子も伝えていきたい。